

## 史跡草津宿本陣 本陣楽座

秋の夜長に落語に親しむのはいかがでしょうか？

落語の上演 ●演者 桂春之輔・露の棗

🕒 11月18日(土) 17:30~18:30 定 50人(先着順)

🎫 700円 申 11月2日(木)~、電話かファクスで

申・問 史跡草津宿本陣(草津一) ☎・FAX 561-6636

## 草津駅地下道路の夜間通行止め

清掃・施設点検・補修工事などのため、夜間通行止めを行います。通行規制にご協力をお願いします。

11月14日(火)~17日(金)、11月28日(火)~12月23日(土)  
各 0:00~6:00(日曜日を除く)

問 道路課(5階) ☎561-2391、FAX 561-2487

※ 8:30~17:15以外と土・日曜日、祝日は守衛室(☎561-2499)

# 歴史ギャラリー

古代のSDGs

No.192



SDGsとは国連で採択された、持続可能な開発目標です。17の目標

で構成され、その中の「目標12・つくる責任 つかう責任」は日本においても主要な課題であり、持続可能な消費と生産の取り組みが求められています。

実はこのような取り組みは、奈良時代に実践されてきました。今回はその一端が分かる資料を紹介します。

下記の写真は草津市追分に所在する大將軍遺跡で出土した須恵器の坏です。坏は食器として利用され、蓋として用いたものを「坏蓋」、お椀として用いたものを「坏身」と呼んでいます。この写真にある坏蓋の裏側には墨をすった跡が残っていることから、逆さにして硯としても利用していたことが分かります。このように硯以外の使用目的で作られた土器が転じたと考えられることから「転用硯」と呼ばれています。転用硯は須恵器の坏に多く見られ、その背景として当時食器として大量に流通し、比較的容易に入手できたからと考えられます。また、坏蓋には宝珠と呼ばれつつまみが付き、反対にした

時に安定しにくいいため、下記の写真のように坏身の上に坏蓋を乗せることで利用された可能性があります。こうすることで坏身が台の役割を果たし、机上でも安定して利用できたのではないのでしょうか。これらの取り組みから、限られた資源を最大限有効活用しようとする当時の人々の工夫がうかがえます。皆さんもSDGsの取り組みの一環として、身の回りで転用できるモノを見つけてみても面白いかもしれません。



▲坏蓋

▲坏蓋を逆さにした転用硯

問 歴史文化財課(6階) ☎561-2429、FAX 561-2488

### Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえぶむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」



スマートフォン用アプリ

- マチイロ
- SideBooks(ちいき本棚)

市公式ソーシャルメディア



草津市メール配信サービス

市の情報をメールで配信するサービス



くさつチャンネル

さまざまな動画や、びわ湖放送(BBC)で放送されている草津スケッチもこちらから配信!



市の花 アオバナ



市の木 キンモクセイ

9月30日現在(対前月比)

- 人口139,550人(+109)
- 男70,017人(+67)
- 世帯数63,724世帯(+77)
- 女69,533人(+42)

国スポ開催まであと

697日

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

障スポ開催まであと

724日



開催までカウントダウン!

11月1日(火)時点